

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>

第20期末 (2023年3月27日)	
基準価額	7,632円
純資産総額	82億円
第19期～第20期 (2022年9月27日～2023年3月27日)	
騰落率	3.6%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第10期末 (2023年3月27日)	
基準価額	8,027円
純資産総額	105億円
騰落率	3.6%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)
(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】 デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2022年9月27日～2023年3月27日

<3ヵ月決算型>

第19期 (決算日 2022年12月26日)

第20期 (決算日 2023年3月27日)

<資産成長型>

第10期 (決算日 2023年3月27日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2023年3月27日に決算を行いました。

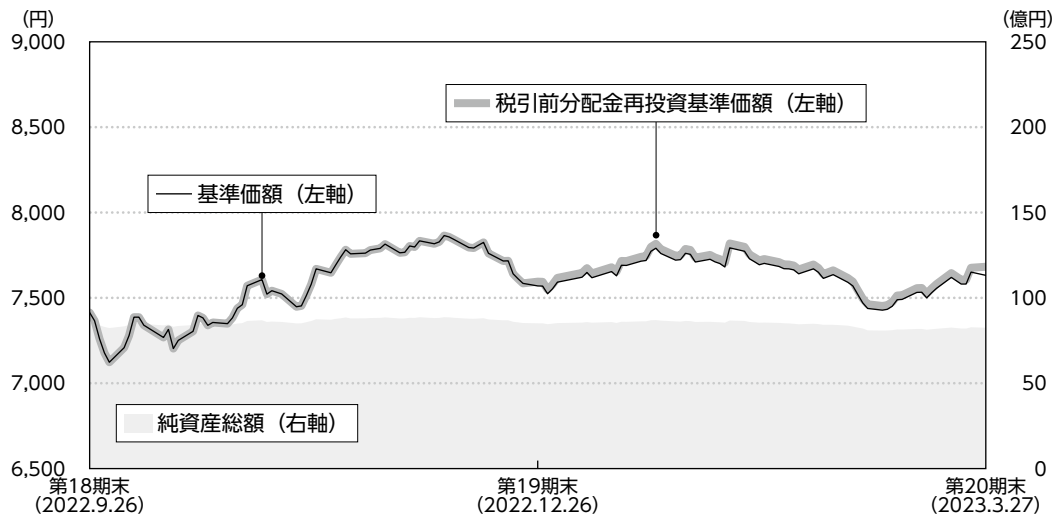
各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2022年9月27日～2023年3月27日

基準価額等の推移



第19期首	7,414円	既払分配金	50円
第20期末	7,632円	騰落率（分配金再投資ベース）	3.6%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・10月下旬から12月中旬にかけて、また1月および3月に欧州債券市場が堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・12月下旬および2月に欧州長期金利が大きく上昇（債券価格は下落）する中、債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇などを背景に幅広いクーポンの債券価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第19期～第20期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	35円	0.455%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,600円です。
(投信会社)	(17)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(17)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.027	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.024)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	37	0.482	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

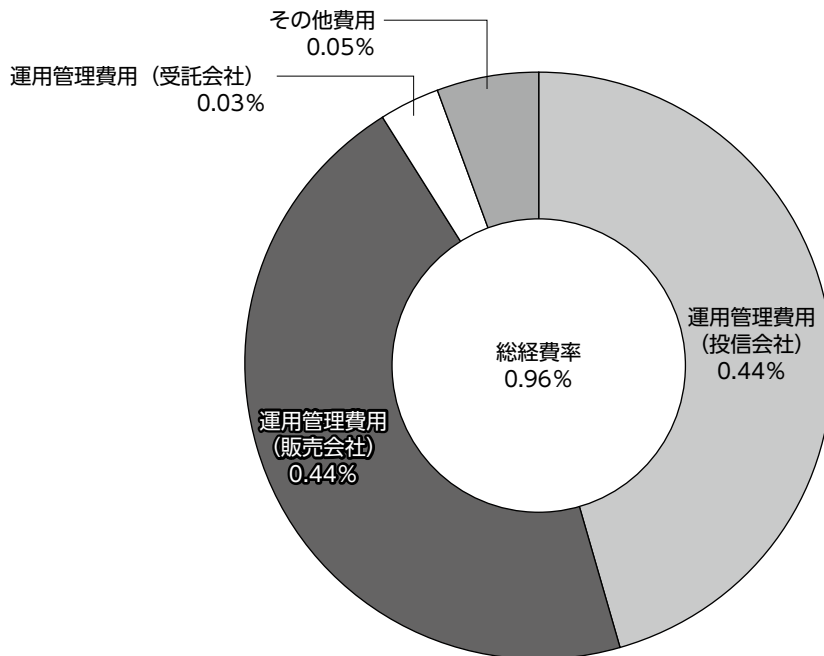
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



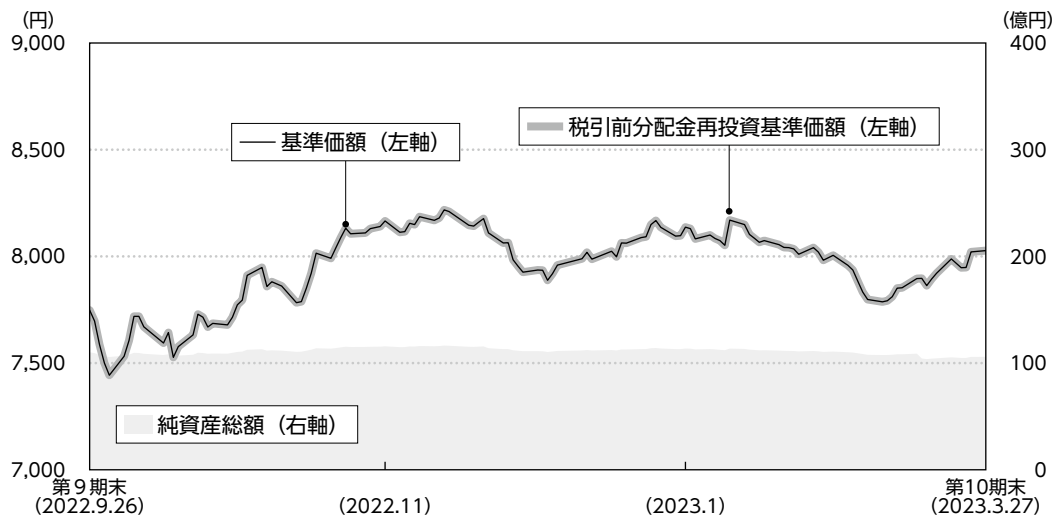
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第10期首	7,748円	既払分配金	0円
第10期末	8,027円	騰落率 (分配金再投資ベース)	3.6%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・10月下旬から12月中旬にかけて、また1月および3月に欧州債券市場が堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・12月下旬および2月に欧州長期金利が大きく上昇（債券価格は下落）する中、債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇などを背景に幅広いクーポンの債券価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.455%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,954円です。
(投信会社)	(17)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(17)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.027	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.024)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	38	0.482	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

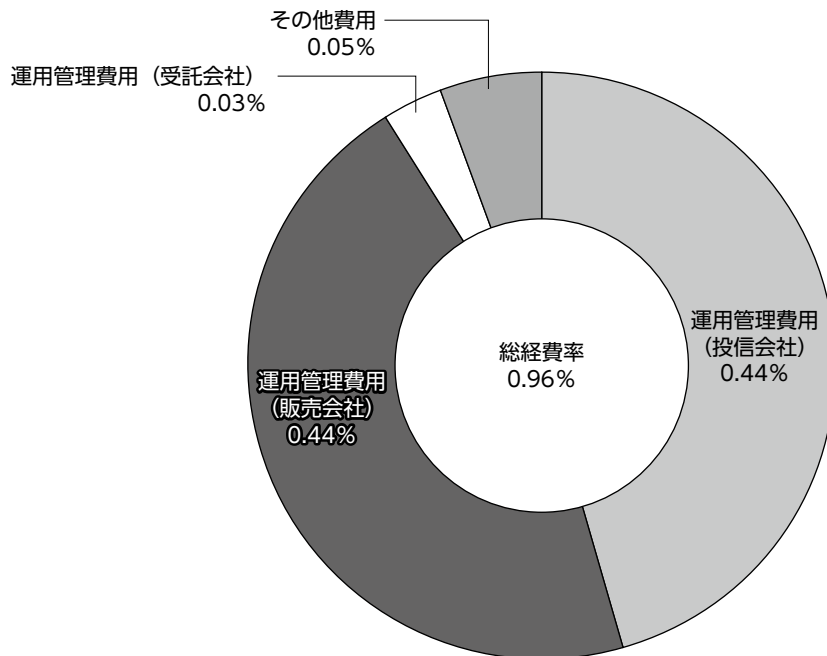
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

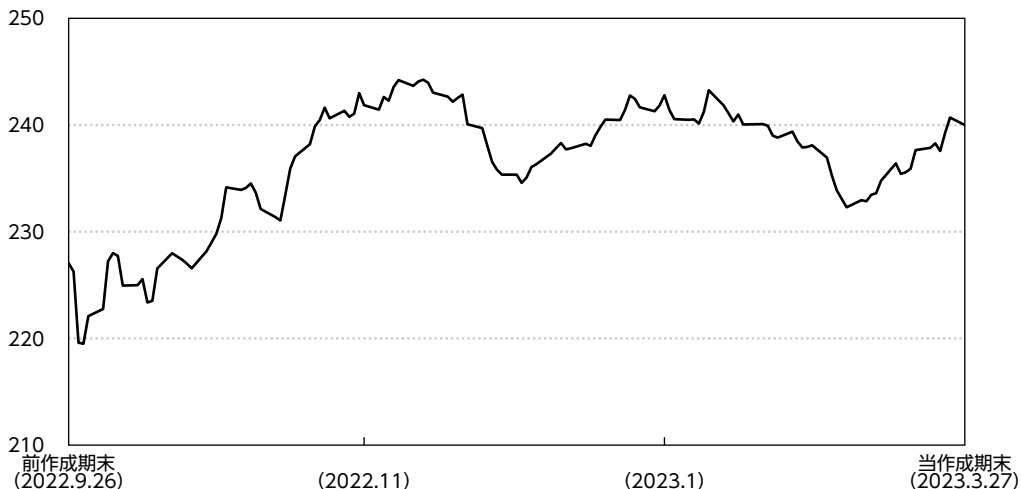
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレジットDMBインデックスの推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期初から12月中旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）が10月の理事会で0.75%の政策金利の引き上げを決定したものの、イギリスの財政悪化懸念が和らいだことに加え、経済指標の下振れなどを受けて金融政策の引き締めスタンスの緩和が意識されたことから欧州（ドイツ10年国債）金利が低下（債券価格は上昇）しました。しかし、12月の理事会で0.50%の追加引き上げが決定され、今後も金融引き締めに積極的な姿勢であることが示されると、年末にかけて金利は上昇に転じました。1月以降は、経済指標の下振れを受けて金融引き締め政策の出口が意識され金利は低下基調で推移しましたが、2月に入り世界的に経済指標が上振れたことを受けて金融政策の引き締めスタンスが想定より長期化するとの思惑から再び上昇しました。3月は米金融機関の破綻を受けて欧州でも金融機関への不安が波及し、世界的にリスクセンチメント（市場心理）が悪化する中で、金利は低下基調で推移しました。

デンマーク・カバード債券については、当作成期初から12月中旬にかけて欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、債券市場のボラティリティ上昇が一服したことから価格が上昇しました。12月下旬に欧州金利が上昇に転じたことを受けて、デンマーク・カバード債券は軟調な値動きとなりましたが、1月は欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中で買い戻される展開となりました。その後、2月に欧州金利が上昇するとデンマーク・カバード債券の価格は下落しましたが、3月に入り金利が低下すると再び価格は上昇しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でニクレディット・リアルクレディット（30.4%）、ノルディア・クレディット（29.4%）、ユスケ・リアルクレディット（29.4%）、リアルクレディット・デンマーク（10.8%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第19期	第20期
	2022年9月27日～2022年12月26日	2022年12月27日～2023年3月27日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.33%	0.33%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	346円	368円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年9月27日～2023年3月27日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	646円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州債券市場については徐々に値動きが安定していく展開を予想しています。ECBは今後の金融政策について経済指標の内容をみて判断するとしており、インフレ率が現在の予想より上振れる状況が続けば政策金利のさらなる引き上げも想定されます。しかし、世界的に利上げ打ち止め観測が強まっていることに加え、金融システムへの不安や景気後退リスクも意識され、欧州長期金利の上昇余地は限られると予想しており、次第に安定的な値動きに収束すると見込みます。

デンマーク・カバード債券については、再び金利が上昇する局面では軟調な値動きとなる可能性はありますが、金融政策引き締めが徐々に見えつつある中においては、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に次第に落ち着きを取り戻し、需要は高まるとみています。また、債券の発行量が抑制されていることに加え、低クーポン債を中心に住宅ローン借入人による買い戻しがみられていることもパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第20期末 2023年3月27日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

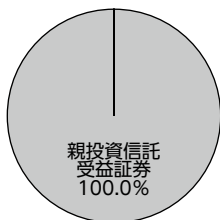
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

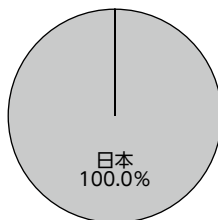
項目	第19期末 2022年12月26日	第20期末 2023年3月27日
純資産総額	8,509,849,804円	8,250,417,717円
受益権総口数	11,241,287,884口	10,810,806,376口
1万口当たり基準価額	7,570円	7,632円

(注) 当作成期間（第19期～第20期）中における追加設定元本額は34,983,022円、同解約元本額は781,870,987円です。

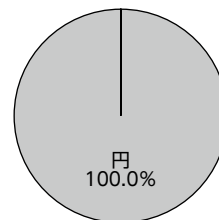
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年3月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第10期末 2023年3月27日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

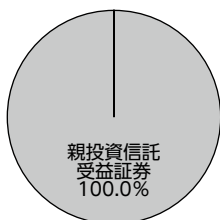
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

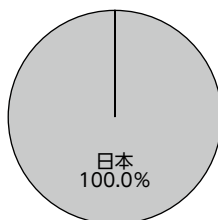
項目	第10期末 2023年3月27日
純資産総額	10,583,720,187円
受益権総口数	13,184,865,504口
1万口当たり基準価額	8,027円

(注) 当期間中における追加設定元本額は281,299,832円、同解約元本額は1,308,843,021円です。

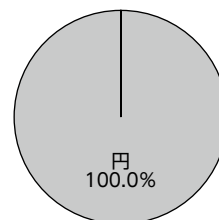
■ 資産別配分



■ 国別配分



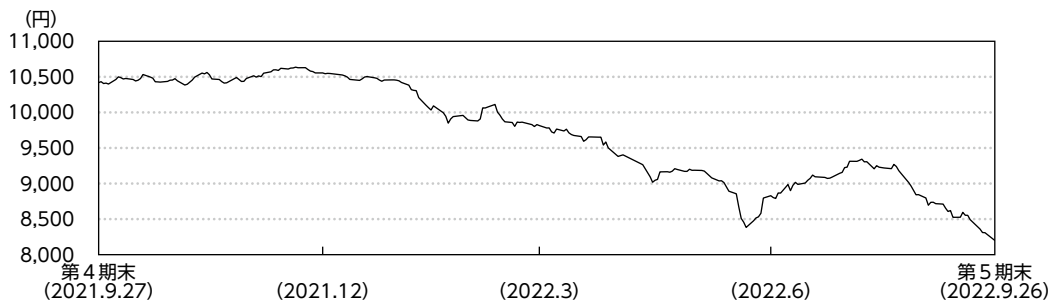
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年3月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

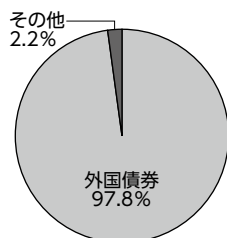
銘柄名	通貨	比率
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	15.5%
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	10.7
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	10.5
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	9.3
JYSKE REALKREDIT A/S 1.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.0
JYSKE REALKREDIT A/S 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	7.8
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	7.7
JYSKE REALKREDIT A/S 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	5.4
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	5.0
NYKREDIT REALKREDIT AS 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.3
組入銘柄数		16

■ 1万口当たりの費用明細

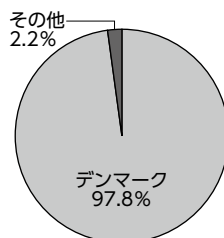
2021.9.28~2022.9.26

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円 (3)
(その他)	(0)
合計	3

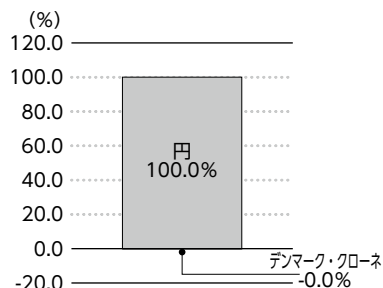
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2022年9月26日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
11期 (2020年12月25日)	10,304	25	0.4	10,554	99.5	23,138
12期 (2021年 3月25日)	10,031	25	△ 2.4	10,306	98.5	20,845
13期 (2021年 6月25日)	9,834	25	△ 1.7	10,134	97.4	19,305
14期 (2021年 9月27日)	9,621	25	△ 1.9	9,946	97.7	17,205
15期 (2021年12月27日)	9,700	25	1.1	10,050	94.4	13,643
16期 (2022年 3月25日)	8,975	25	△ 7.2	9,350	99.2	12,067
17期 (2022年 6月27日)	8,028	25	△10.3	8,428	98.0	9,485
18期 (2022年 9月26日)	7,414	25	△ 7.3	7,839	97.9	8,569
19期 (2022年12月26日)	7,570	25	2.4	8,020	89.9	8,509
20期 (2023年 3月27日)	7,632	25	1.1	8,107	97.7	8,250

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券 組入比率	
第19期	(期首)	円	%	%	
	2022年 9月26日	7,414	—	97.9	
	9月末	7,123	△3.9	97.4	
	10月末	7,607	2.6	101.5	
	11月末	7,804	5.3	95.5	
(期末)	2022年12月26日	7,595	2.4	89.9	
第20期	(期首)	2022年12月26日	7,570	—	89.9
	12月末	7,592	0.3	90.4	
	2023年 1月末	7,711	1.9	98.3	
	2月末	7,570	0.0	100.0	
	(期末)	2023年 3月27日	7,657	1.1	97.7

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年9月27日～2023年3月27日

	第19期～第20期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	31,614	26,730	815,857	687,264

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2022年9月27日～2023年3月27日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年3月27日現在

種類	第18期末	第20期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	10,451,512	9,667,270	8,251,015

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は27,572,043千口です。

投資信託財産の構成

2023年3月27日現在

項目	第20期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	8,251,015	99.3
コール・ローン等、その他	54,653	0.7
投資信託財産総額	8,305,668	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお3月27日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ18.88円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（23,158,455千円）の投資信託財産総額（23,621,017千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年12月26日) (2023年3月27日)現在

項目	第19期末	第20期末
(A) 資産	8,567,393,264円	8,305,668,052円
コール・ローン等	18,479,741	17,914,626
ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンド(評価額)	8,510,463,100	8,251,015,031
未収入金	38,450,423	36,738,395
(B) 負債	57,543,460	55,250,335
未払収益分配金	28,103,219	27,027,015
未払解約金	9,663,962	8,852,651
未払信託報酬	19,622,441	19,219,280
その他未払費用	153,838	151,389
(C) 純資産総額(A - B)	8,509,849,804	8,250,417,717
元本	11,241,287,884	10,810,806,376
次期繰越損益金 △	2,731,438,080	2,560,388,659
(D) 受益権総口数	11,241,287,884口	10,810,806,376口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,570円	7,632円

(注1) 当作成期首元本額 11,557,694,341円
 当作成期中追加設定元本額 34,983,022円
 当作成期中一部解約元本額 781,870,987円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,560,388,659円です。

損益の状況

(第19期 2022年9月27日～2022年12月26日)
 (第20期 2022年12月27日～2023年3月27日)

項目	第19期	第20期
(A) 配当等収益 △	1,913円	567円
受取利息	21	47
支払利息 △	1,934	614
(B) 有価証券売買損益	222,648,672	112,680,863
売買益	230,415,079	116,301,952
売買損 △	7,766,407	3,621,089
(C) 信託報酬等 △	19,776,288	19,370,675
(D) 当期損益金(A + B + C)	202,870,471	93,309,621
(E) 前期繰越損益金 △	3,176,654,203	2,882,522,918
(分配準備積立金) (9,435,941)	(32,249,549)
(繰越欠損金) △	3,186,090,144)	2,914,772,467)
(F) 追加信託差損益金*	270,448,871	255,851,653
(配当等相当額) (355,975,713)	(342,410,393)
(売買損益相当額) △	85,526,842)	(86,558,740)
(G) 合計(D + E + F) △	2,703,334,861	2,533,361,644
(H) 収益分配金 △	28,103,219	27,027,015
次期繰越損益金(G + H) △	2,731,438,080	2,560,388,659
追加信託差損益金	270,448,871	255,851,653
(配当等相当額) (355,993,548)	(342,432,098)
(売買損益相当額) △	85,544,677)	(86,580,445)
分配準備積立金	33,584,986	55,887,391
繰越欠損金 △	3,035,471,937	2,872,127,703

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第19期	第20期
(a) 経費控除後の配当等収益	52,252,264円	50,664,857円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	355,993,548円	342,432,098円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	9,435,941円	32,249,549円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	417,681,753円	425,346,504円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	371.56円	393.45円
(g) 分配金	28,103,219円	27,027,015円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
6期(2021年3月25日)	10,305	0	△ 2.0	10,305	98.5	30,774
7期(2021年9月27日)	9,935	0	△ 3.6	9,935	97.7	24,996
8期(2022年3月25日)	9,317	0	△ 6.2	9,317	99.2	15,528
9期(2022年9月26日)	7,748	0	△16.8	7,748	97.9	11,011
10期(2023年3月27日)	8,027	0	3.6	8,027	97.7	10,583

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率	
				%
(期首)2022年9月26日	円 7,748	% -		97.9
9月末	7,443	△3.9		97.4
10月末	7,948	2.6		101.5
11月末	8,155	5.3		95.5
12月末	7,959	2.7		90.4
2023年1月末	8,084	4.3		98.3
2月末	7,936	2.4		100.0
(期末)2023年3月27日	8,027	3.6		97.7

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年9月27日～2023年3月27日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	265,387	221,508	1,293,667	1,091,140

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2022年9月27日～2023年3月27日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年3月27日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	13,429,591	12,401,312	10,584,519

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は27,572,043千口です。

投資信託財産の構成

2023年3月27日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	10,584,519	99.5
コール・ローン等、その他	52,879	0.5
投資信託財産総額	10,637,398	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお3月27日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ18.88円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（23,158,455千円）の投資信託財産総額（23,621,017千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	10,637,398,898円
コール・ローン等	49,146,267
ニッセイ・デンマーク・カバード債券 マザーファンド(評価額)	10,584,519,886
未収入金	3,732,745
(B) 負債	53,678,711
未払解約金	2,673,513
未払信託報酬	50,635,067
その他未払費用	370,131
(C) 純資産総額(A-B)	10,583,720,187
元本	13,184,865,504
次期繰越損益金	△ 2,601,145,317
(D) 受益権総口数	13,184,865,504口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,027円

(注1) 期首元本額 14,212,408,693円
 期中追加設定元本額 281,299,832円
 期中一部解約元本額 1,308,843,021円

(注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は
 2,601,145,317円です。

損益の状況

当期 (2022年9月27日～2023年3月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 4,789円
受取利息	587
支払利息	△ 5,376
(B) 有価証券売買損益	416,343,744
売買益	443,918,044
売買損	△ 27,574,300
(C) 信託報酬等	△ 51,005,339
(D) 当期損益金(A+B+C)	365,333,616
(E) 前期繰越損益金	△ 3,454,055,309
(分配準備積立金)	(283,073,533)
(繰越欠損金)	(△ 3,737,128,842)
(F) 追加信託差損益金*	487,576,376
(配当等相当額)	(439,241,036)
(売買損益相当額)	(48,335,340)
(G) 合計(D+E+F)	△ 2,601,145,317
次期繰越損益金(G)	△ 2,601,145,317
追加信託差損益金	487,576,376
(配当等相当額)	(439,610,313)
(売買損益相当額)	(47,966,063)
分配準備積立金	413,404,815
繰越欠損金	△ 3,502,126,508

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	130,331,282円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	439,610,313円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	283,073,533円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	853,015,128円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	646.97円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間		2018年4月16日～2028年9月25日	
運 用 方 針		<p>①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド

運用報告書

第 5 期

(計算期間：2021年9月28日～2022年9月26日)

運用方針

- ①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

主要運用 対象

デンマーク・カバード債券等

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

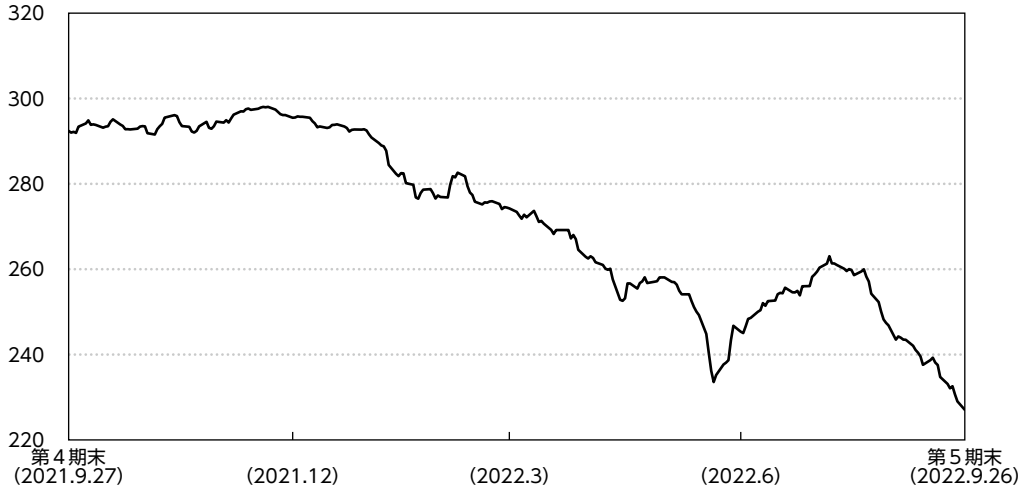
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2021年9月28日～2022年9月26日

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



(注) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

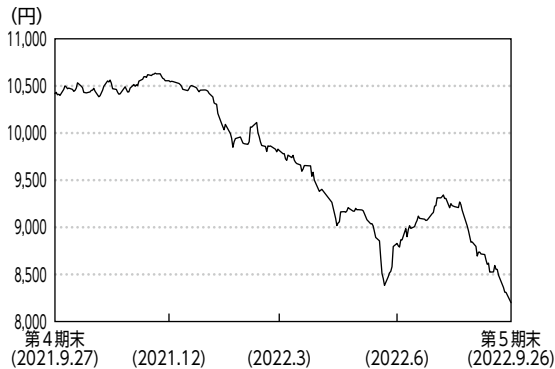
当期の欧州（ドイツ10年国債）金利は、大きく上下しながらも期を通じて見ると大幅に上昇（債券価格は下落）しました。

期初から12月中旬にかけては、資源価格の高騰を背景にインフレ圧力が意識された一方、欧州域内での新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、欧州金利はもみあいでも推移しました。12月下旬から2月中旬にかけては、新型コロナウイルスの変異株に対する懸念がやや後退しリスクセンチメント（市場心理）が改善する中、主要国中央銀行の金融政策の正常化に対する警戒が広がったことから、欧州金利は上昇基調で推移しました。2月下旬から6月中旬にかけては、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりから一時的に欧州金利は低下する場面もありましたが、インフレ高進が継続する中、欧州中央銀行（ECB）が3月の理事会で債券購入プログラムの前倒し終了を発表したことに加え、4月および6月の理事会においても金融政策の早期正常化を示唆したことから大幅に上昇しました。6月下旬から7月末にかけては、ECBが7月会合で0.50%の政策金利引き上げを決定しましたが、経済指標の下振れなどから景気後退リスクが意識される展開となり欧州金利は低下しました。8月以降はECBが一段の金融引き締めを実施する可能性に市場の関心が集まる中、9月会合で0.75%の政策金利引き上げ決定と引き締めの強化が示唆されたことに加え、イギリスが大規模減税と国債増発計画を発表したことを背景に欧州金利は大幅に上昇しました。

デンマーク・カバード債券は期初から12月中旬にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク国立銀行（中央銀行）が2021年9月に利下げを決定したことも好感され堅調な値動きとなりました。12月下旬から6月中旬にかけては、欧州長期金利が大幅に上昇する中、デュレーションの長期化や債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇が嫌気され、幅広いクーポンで大きく価格が下落しました。6月下旬から7月末にかけては、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク国立銀行がECBと同じタイミングで行った0.50%の政策金利引き上げの影響も限定的にとどまり、デンマーク・カバード債券は買い戻される展開となりました。しかし、8月以降は欧州長期金利が再度上昇に転じたことや債券市場のボラティリティが一段と高まったことを受けて、デンマーク・カバード債券は再び大きく下落しました。

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 期初から12月中旬にかけて、また6月下旬から7月末にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・ 相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・ 12月下旬から6月中旬にかけて、また8月以降に欧州長期金利が大きく上昇（債券価格は下落）する中、債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇などを背景に、幅広いクーポンの債券で価格下落したこと

ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でニクレディット・レアルクレディット（30.2%）、ノルディア・クレディット（29.7%）、ユスケ・レアルクレディット（29.6%）、レアルクレディット・デンマーク（10.6%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

欧州債券市場については、ボラタイル（価格変動が激しい）な展開を予想します。インフレ指標が高止まりする限り、各国の中央銀行は政策金利の引き上げを行うスタンスを堅持する蓋然（がいぜん）性が高いとみていますが、グローバルな金融引き締め の副作用として急激に市場環境の悪化が見られていることから、先々の金融政策については慎重なスタンスを示す可能性があります。インフレ高進による景気悪化が意識される中、長期金利の上昇余地には限界があり次第に安定的な値動きに収束すると予想します。

デンマーク・カバード債券については、債券市場のボラティリティが高止まりしていることが価格の下押し圧力となっています。ECBが金融引き締め に積極的な中、当面ボラタイルな環境が継続する可能性はありますが、高い投資安全性と良好な利回りを背景に次第に落ち着きを取り戻し需要は高まると見えています。また、債券発行量が抑制されていることに加え、低クーポン債中心に借入人による買い戻しがみられていることもパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		債券組入比率	純資産総額
(設定日) 2017年10月12日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 100
1期 (2018年9月25日)	10,280	2.8	100.8		21,234
2期 (2019年9月25日)	10,794	5.0	97.8		60,833
3期 (2020年9月25日)	10,930	1.3	96.6		70,889
4期 (2021年9月27日)	10,419	△ 4.7	97.7		51,590
5期 (2022年9月26日)	8,200	△21.3	97.8		24,720

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
(期首) 2021年9月27日	円 10,419	% -	% 97.7	
9月末	10,412	△ 0.1	95.3	
10月末	10,444	0.2	99.0	
11月末	10,496	0.7	94.5	
12月末	10,547	1.2	94.0	
2022年1月末	10,383	△ 0.3	96.3	
2月末	9,880	△ 5.2	96.6	
3月末	9,710	△ 6.8	98.7	
4月末	9,403	△ 9.8	97.9	
5月末	9,175	△11.9	94.4	
6月末	8,867	△14.9	96.7	
7月末	9,313	△10.6	94.4	
8月末	8,736	△16.2	97.5	
(期末) 2022年9月26日	8,200	△21.3	97.8	

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2021年9月28日～2022年9月26日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.036%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.035)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.036	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（9,705円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2021年9月28日～2022年9月26日

公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 2,152,805	千デンマーク・クローネ 3,213,612 (89,651)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2021年9月28日～2022年9月26日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NORDEA KREDIT REALKREDIT	6,997,007	NYKREDIT REALKREDIT AS	8,712,564
NYKREDIT REALKREDIT AS	6,500,934	JYSKE REALKREDIT A/S	8,300,510
NORDEA KREDIT REALKREDIT	4,324,760	NORDEA KREDIT REALKREDIT	8,093,436
JYSKE REALKREDIT A/S	3,848,968	NYKREDIT REALKREDIT AS	6,001,962
NYKREDIT REALKREDIT AS	2,958,231	NORDEA KREDIT REALKREDIT	5,918,572
NYKREDIT REALKREDIT AS	2,899,932	NORDEA KREDIT REALKREDIT	5,394,500
NYKREDIT REALKREDIT AS	2,737,155	NYKREDIT REALKREDIT AS	3,605,706
JYSKE REALKREDIT A/S	2,177,747	JYSKE REALKREDIT A/S	2,827,129
NYKREDIT REALKREDIT AS	2,062,829	REALKREDIT DANMARK	1,816,485
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1,005,631	NYKREDIT REALKREDIT AS	1,676,457

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2022年9月26日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	1,624,687	1,293,514	24,188,725	97.8	—	97.8	—	—
合計	—	—	24,188,725	97.8	—	97.8	—	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千円	千円
デンマーク	%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
社債券					
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2050/10/01	47,411	31,784	594,379
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	97,016	71,342	1,334,095
JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	82,345	66,233	1,238,573
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2053/10/01	161,040	106,065	1,983,431
JYSKE REALKREDIT A/S	2.5000	2053/10/01	123,515	103,200	1,929,855
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	38,132	30,651	573,181
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5000	2053/10/01	171,857	122,518	2,291,098
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2053/10/01	28,228	21,896	409,467
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.5000	2053/10/01	245,130	204,814	3,830,023
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2050/10/01	18,746	15,256	285,304
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2053/10/01	61,264	47,488	888,032
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.5000	2053/10/01	68,268	56,983	1,065,588
NYKREDIT REALKREDIT AS	3.0000	2053/10/01	163,469	141,788	2,651,437
NYKREDIT REALKREDIT AS	3.5000	2053/10/01	153,230	138,244	2,585,164
REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	125,878	101,284	1,894,012
REALKREDIT DANMARK	3.0000	2053/10/01	39,154	33,961	635,077
合計	—	—	—	—	24,188,725

投資信託財産の構成

2022年9月26日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 24,188,725	% 96.0
コール・ローン等、その他	1,005,243	4.0
投資信託財産総額	25,193,969	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月26日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ18.70円です。

(注2) 外貨建純資産(24,468,660千円)の投資信託財産総額(25,193,969千円)に対する比率は97.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月26日現在)

項目	当期末
(A) 資産	52,441,232,768円
コール・ローン等	724,103,513
公社債(評価額)	24,188,725,690
未収入金	27,369,276,724
未収利息	145,303,161
前払費用	13,823,680
(B) 負債	27,720,239,857
未払金	27,637,760,723
未払解約金	82,476,931
その他未払費用	2,203
(C) 純資産総額(A-B)	24,720,992,911
元本	30,147,983,263
次期繰越損益金	△ 5,426,990,352
(D) 受益権総口数	30,147,983,263口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,200円

(注1) 期首元本額 49,514,416,082円
 期中追加設定元本額 270,084,143円
 期中一部解約元本額 19,636,516,962円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・3ヵ月決算型) 10,451,512,801円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型) 13,429,591,941円
 きらぼし・デンマーク・インカムファンド (為替ヘッジ型) 2,810,539,979円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2018-09 (為替ヘッジあり) 1,828,680,690円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-07 (為替ヘッジあり・限定追加型) 701,865,108円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12 (為替ヘッジあり・限定追加型) 925,792,744円

(注3) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は5,426,990,352円です。

損益の状況

当期 (2021年9月28日~2022年9月26日)

項目	当期
(A) 配当等収益	630,604,301円
受取利息	631,283,970
支払利息	△ 679,669
(B) 有価証券売買損益	△ 7,981,655,091
売買益	6,618,350,610
売買損	△ 14,600,005,701
(C) 信託報酬等	△ 12,844,229
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,363,895,019
(E) 前期繰越損益金	2,075,761,505
(F) 追加信託差損益金	△ 4,753,504
(G) 解約差損益金	△ 134,103,334
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 5,426,990,352
次期繰越損益金(H)	△ 5,426,990,352

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。